禁転載複製
当日配付
試験終了後公開

B1

「中央職業能力開発協会編」

令和７年度 技能検定
２級 園芸装飾 学科試験問題
(室内園芸装飾作業)

1. 試験時間　1時間40分
2. 問題数　50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
   (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
   (2) 答案用紙(真偽法と多肢択一法の併用)に検定職種名、作業名、級別、受検番号、氏名を必ず記入してください。
   (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
   (4) 試験開始の合図で始めてください。
   (5) 解答の方法(真偽法と多肢択一法の併用)は次のとおりです。
      イ. A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断して解答してください。
      ロ. B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、解答してください。二つ以上に解答した場合は誤答となります。
      ハ. 答案用紙(マークシート用紙)へ解答する際は、答案用紙に記載されている注意事項に従ってください。
      ニ. 答案用紙の解答欄は、A群の問題とB群の問題とでは異なります。所定の解答欄に、試験問題の題数に応じて解答してください。解答欄はA群は50題まで、B群は25題まで解答できるようになっています。
   (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
   (7) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等は、使用してはいけません。
   (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
   (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
   (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

［A群（真偽法）］

1　培養土をつくるときに使用するスコップは、剣スコップよりも角スコップの方がよい。

2　園芸装飾作業で使用する「うま」は、添景物である。

3　インドアガーデンに使用する植物は、鉢植え物に限られている。

4　インドアガーデンに使用する植物の植木鉢は、地被材で覆い隠すのがよい。

5　インドアガーデンを製作する場合の根締めとは、一般に、主景物や添景物の根元に添える植物などのことをいう。

6　ツデーは、インドアガーデンの地被材に適していない。

7　ドラセナ・ワーネッキーの葉枯れを整形する場合、枯れている部分を直角に切り落とすとよい。

8　ハランは、耐陰性が強い。

9　パキラは、実生で繁殖させることができない。

10　サイウンカクは、日なたを好む。

11　盆栽を評価する対象の一つとして、根張りの状態がある。

12　発泡煉石は、水耕栽培に使用される。

13　寒冷紗は、一般に、日除けや風除けに使用する。

14　サンクンガーデンとは、周囲の園路面から適度に掘り下げて設けられる庭園のことである。

15　アブラナ科の花びらは、通常4枚である。

16　植物の生育に必要な肥料成分や光合成で生成される糖類は、道管や師管を通って移動する。

17　リュウゼツラン、シラン及びシュンランは、いずれもラン科の植物である。

18　植え替え作業の仕上げには、四半ごてや小ぼうき等を使用する。

［A群（真偽法)］

19　シュロチクの繁殖は、一般に、株分けによって行う。

20　ギボウシは、半日陰地の植栽には向かない。

21　一般に、アジサイの装飾花(がく片)は、土壌が酸性になると、ピンクや赤色が鮮やかになる。

22　農薬には、防除のために利用される天敵も含まれる。

23　アオムシ(モンシロチョウの幼虫)は、アブラナ科の植物を食害する。

24　温風暖房は、一般に、温水暖房よりも余熱時間が長い。

25　キョウチクトウの樹液は、有毒である。

［B群（多肢択一法）］

1　鋏の使用方法に関する記述として、適切でないものはどれか。
イ　刈込み鋏によって玉物を刈り込む際は、鋏を裏返して使用するとよい。
ロ　木鋏は、主に、太い枝を切るのに使用する。
ハ　剪定鋏で太い枝を切るときは、手元を下に押し下げるように回し切りするとよい。
ニ　芽切り鋏は、盆栽などの剪定に使用する。

2　長期間観賞する寄せ植えの組合せとして、適切でないものはどれか。
イ　エゾマツとアレカヤシ
ロ　ストックとパンジー
ハ　マリーゴールドとペチュニア
ニ　サボテンと多肉ユーフォルビア

3　幹を切り戻して再生できない植物はどれか。
イ　ゴムノキ
ロ　コルディリネ・ストリクタ
ハ　フェニックス・ロベレニー
ニ　パキラ

4　サトイモ科の植物はどれか。
イ　トックリラン
ロ　サツマイモ
ハ　ダリア
ニ　ディフェンバキア

5　水辺の下草として、適切なものはどれか。
イ　アイビー
ロ　トクサ
ハ　ポトス
ニ　ポーチュラカ

6　観賞用鉢物の受皿として、最も多く使用されているものはどれか。
イ　木製のもの
ロ　金属製のもの
ハ　陶器製のもの
ニ　プラスチック製のもの

［B群（多肢択一法）］

7　一般に、インドアガーデンの縁取り材として使用しないものはどれか。
イ　ロープ
ロ　れんが
ハ　玉石
ニ　クラフト紙

8　洋風庭園における水景に関係するものはどれか。
イ　パーゴラ
ロ　トレリス
ハ　カナール
ニ　テラス

9　平年の関東地方におけるチューリップの自然開花期として、適切なものはどれか。
イ　 6～ 8月
ロ　 9～10月
ハ　11～ 1月
ニ　 4～ 5月

10　次のうち、低温に最も弱いものはどれか。
イ　アグラオネマ
ロ　アイビー
ハ　ゲッキツ
ニ　ホンコンカポック

11　照葉樹林を形成している植物として、適切でないものはどれか。
イ　タブノキ
ロ　クスノキ
ハ　マテバシイ
ニ　ヒマラヤスギ

12　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
ゲッキツの葉は、(　　)である。
イ　楯状葉
ロ　扇状葉
ハ　掌状葉
ニ　羽状葉

［B群（多肢択一法）］

13　チューリップの球根の形態として、適切なものはどれか。
　イ　球茎
　ロ　塊茎
　ハ　塊根
　ニ　鱗茎

14　ハボタンが属する科はどれか。
　イ　ボタン科
　ロ　アブラナ科
　ハ　クマツヅラ科
　ニ　アカネ科

15　多肉植物に関する記述として、適切でないものはどれか。
　イ　葉が肥厚して、水分を貯蔵できるものがある。
　ロ　すべてサボテン科に属する。
　ハ　サボテンの花は、観賞に適しているものが多い。
　ニ　アロエは、多肉植物の一つである。

16　次のうち、双子葉植物はどれか。
　イ　ケンチャヤシ
　ロ　サクラ
　ハ　ユリ
　ニ　ツユクサ

17　鉢底に、排水を目的として使用する資材はどれか。
　イ　川砂の微粒子
　ロ　直径1.5～2cm程度の軽石
　ハ　赤玉土のミジン
　ニ　ピートモスの粉末

18　一般に、植え替えの理由とならないものはどれか。
　イ　苗の大きさに応じた鉢で栽培するため。
　ロ　鉢の中が根詰まりを起こしたため。
　ハ　養水分の吸収を良くするため。
　ニ　植物がウイルス病にかかったため。

19　アンスリウムの品種の均質的・計画的な多量繁殖に最も適している方法はどれか。
　イ　種子繁殖
　ロ　株分け
　ハ　挿し木
　ニ　メリクロン

［B群（多肢択一法）］

20　温室内で寒さに弱い植物を管理するのに、最も良い場所はどれか。
イ　西面側
ロ　東面側
ハ　中央寄り
ニ　北面側

21　酸性土壌を中和するため、散布するのに適切なものはどれか。
イ　硫黄粉
ロ　バーミキュライト
ハ　石灰
ニ　ピートモス

22　ぶどうの単為結果(種無し化)に使用される植物ホルモン剤はどれか。
イ　エチレン
ロ　オーキシン
ハ　アブシジン酸
ニ　ジベレリン

23　文中の(　　)内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
夏期のツバキの葉は、(　　)の幼虫によって食害されやすい。
イ　カイガラムシ
ロ　チャドクガ
ハ　ハダニ
ニ　グンバイムシ

24　温室の骨格として、最も耐久性があるものはどれか。
イ　鉄骨にペンキを塗ったもの
ロ　鉄骨に溶融亜鉛めっき(ドブ漬け)を行ったもの
ハ　木製用材に錆(さび)止めを施したもの
ニ　木製用材の表面を焼いて炭化させたもの

25　文中の(　　)内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
労働安全衛生法関係法令によれば、脚立は、脚と水平面との角度を(　　)度以下とすることとされている。
イ　25
ロ　30
ハ　45
ニ　75